



い



2022-1 次隊 岡崎 友里



かぎ 鍵をにぎる学校



前回に引き続き、ヨルダンの教育と学校に関してまとめていきます。ヨルダンにある「公立」、「私立」、そして、「UNRWA」という3種類の学校のうち、ヨルダンの特徴的な学校である「UNRWA」学校に着目してみます。

それぞれの学校では、ヨルダン政府が作成しているカリキュラムに従った内容の学習を授業が行われていますが、管轄が異なるため、施設の設備や時間割等の内容の違いがあります。(※UNRWAって何?ということについては、No.33を参考にしてください。)繰り返しになりますが、人口の7割がパレスチナ人というほど、ヨルダン国内にパレスチナから移住してきた人が多いです。ヨルダンの財政は常に赤字の厳しい状況にあり、そのような中でも難民の人たちが生活できるようにするためには、外国からの国際的な支援が必要になります。そこで、パレスチナ難民に対して、救済支援事業を行う国際組織UNRWAがとても重要な役割を果たしています。

では、UNRWAの学校について詳しく見ていきましょう。

まず、子どもの数に対して学校や教室、先生の数が足りないのはヨルダン国内においてUNRWAも同じ問題を抱えています。そのため、UNRWA学校では、全体の約9割の学校で2つの学校を1つの学校にまとめ、午前と午後の半分にけて授業を行い、運営する「2部制」を取り入れています。



女子校

マダバ地域の学校を例に挙げてみます。マダバには、男子校と女子校、2校のUNRWA学校があります。それぞれ1つの校舎を午前と午後の時間に分けて小学校と中学校として使っています。(地域によっては、午前も午後も小学校という学校もあります。)



男子校

UNRWA学校の時間割

- 1時間の授業は、夏は40分間。冬は35分間。(日の出前、日の入り後が暗くなり、危ないため。)
- 授業ごとに休み時間はなく、7時間の授業がある。

UNRWA学校の2部制

月	1月	2月	3月
午前	小学校	中学校	小学校
午後	中学校	小学校	中学校

つきごとに午前と午後が入れ替わります。



(冬午前)時間	(冬午後)時間	内容	(夏午前)時間	(夏午後)時間
7:50 ~ 8:00	12:45 ~ 12:55	全校朝会	6:50 ~ 7:00	11:50 ~ 12:00
8:00 ~ 8:35	12:55 ~ 13:30	1時間目	7:00 ~ 7:40	12:00 ~ 12:40
8:35 ~ 9:10	13:30 ~ 14:05	2時間目	7:40 ~ 8:20	12:40 ~ 13:20
9:10 ~ 9:45	14:05 ~ 14:40	3時間目	8:20 ~ 9:00	13:20 ~ 14:00
9:45 ~ 10:05	14:40 ~ 15:00	フルサ(休憩時間)	9:00 ~ 9:20	14:00 ~ 14:20
10:05 ~ 10:40	15:00 ~ 15:35	4時間目	9:20 ~ 10:00	14:20 ~ 15:00
10:40 ~ 11:15	15:35 ~ 16:10	5時間目	10:00 ~ 10:40	15:00 ~ 15:40
11:15 ~ 12:20	16:10 ~ 16:45	6時間目	10:40 ~ 11:20	15:40 ~ 16:20
12:20 ~ 12:55	16:45 ~ 17:20	7時間目	11:20 ~ 12:00	16:20 ~ 17:00

夏の午前は朝早い!

登校後、全校朝会

家から持って来たパンや野菜、スナックを食べる。(その後、当番クラスがごみ拾い。)

登下校は徒歩の他に、自家用車やバスに乗る子もいます。午前と午後の入れ替わりのタイミングは、大混雑!



そんなUNRWA学校で活動中の隊員...

マイヤードさん。東京都出身。熱々のトルココーヒーと友達のお母さんが作るアラブ料理が大好き。最近ハマっているのは、ヨルダンのきれいな夕陽と夕焼けを見ること。



その名も、マイヤードです。
(アラビア語の名前です。)



学校の先生に向けたワークショップ



大学生に向けたワークショップ

アンマン市内にあるUNRWAが管轄する小学校で、体育科の学習を普及促進するために活動しています。主に、学級担任である1~3年生の学級(13クラス)に向けて、週1~2回体育科の授業を行っています。また、運動することや体育科の学習の重要性を学校の先生や教員志望の大学生に向けてワークショップを実施しました。



マイヤードさんの活動先
アンマンの女子校

ヨルダン国内にいくつもあるUNRWA学校の1つの学校で働くマイヤードさん。学校によって異なる環境の中でできることを常に考え、特別なことではなく、学校にある道具を活用し、現地教員にとって無理のない体育科の授業づくりを試行錯誤しながら取り組んでいます。日本の学校のように各学校に校庭や体育館があるわけではなく、あったとしても広くなく、砂よりもコンクリートが多いです。そして使える道具があったとしても、1クラス約35~40人に対して十分な数があるとはいえません。そのため、限られた場所でも全員が身体を動かせるような内容を行うことは簡単なことではありません。



列に並んで記念撮影



徒競走

それでも働く教員を巻き込みながら授業やワークショップを行い、精力的に活動しています。とにかく自発的に広範囲に行動をする人なので、私もよく相談をしたり、助けてもらったりしています。



ガザへお祈りする会



パレスチナについて学習する時間



学校の周りの様子

UNRWA学校にしかないパレスチナ文化や歴史に触れる時間があるのも特徴です。例えば、パレスチナの文化を映像で見て学んだり、いまだに日々悲しいニュースが流れてくるガザとイスラエルの戦争に対して、パレスチナ難民の方々の思いを表現する集会が開かれたりするそうです。ヨルダンで暮らしているながらも、「故郷を忘れない。」そんな人々の思いを感じます。

パレスチナ難民の方々の中には、約75年前に「また帰ってくる。」と思って締めた扉の鍵を今でも大切に持っている人が多くいます。彼らにとって「鍵」は故郷への強い思いであり、希望の象徴です。ヨルダンの街や道のあちこち、そしてUNRWAの校舎内にも「鍵」の絵が描かれています。今回紹介したUNRWA学校は、パレスチナ難民の方々にとって、単なる子どもたちが学習する場所というだけでなく、とても大切に意味のある場所だと考えさせられます。

Let's talk in Arabic! のスペースがなくなりました...また次回をお楽しみに!

مع السلامة!